

『なぜ、お金を払ったのに家が建たないのか』 ～住宅価値を創造する住宅完成保証～発売のお知らせ

<内容紹介>

地盤調査、地盤改良、地盤保証で圧倒的な実績を持つ著者が取り組んだ新しい住宅問題——「住宅未完成被害」。建築資金を払ったにも関わらず家が完成しない、深刻な消費者被害を、住宅完成保証という「仕組み」で解決していく。これから家を建てる人、工務店・ハウスメーカー必読の一冊。

お金を払ったのに家が建たない——こう聞いてあなたはどのように感じになりますか？ 実は、これは近年業界で注目を浴びている社会問題の一つなのです。

住宅業界では、今までに、色々な「不安」が取りざたされ、騒がれてきました。欠陥住宅、地盤沈下、土壌汚染、周辺トラブル、騒音……。

しかし、今まであまり注目を浴びてこなかったものがあります。それが、「お金を払ったのに、家が建たない」というトラブルです。

注文住宅の工事では、これまで「先払い」で費用の何割かを支払うという慣習が根付いていました。しかし、この慣習が原因となり、大きな消費者被害事件が起きてしまいました。

富士ハウス事件、そしてアーバンエステート事件。

詳しくは第一章で述べますが、この二つは、「お金を払ったのに家が建たない」という事件を数百人規模で出してしまった、近年では最も深刻な消費者被害の例です。

工務店やハウスメーカー本体の倒産が、珍しくなくなった今、「建築業者が倒産したとき、どうする？」という問いかけがなされています。

前述した二つの事件は、二〇〇九年当時、大きく報道されたものの、まるで嵐のような不動産不況をくぐりぬけ、現在では少しずつ風化しつつあります。

この本は、「住宅未完成被害」という事態を想定して、万が一そうになってしまう前にどんな対応をとればいいのか、あなたに考えてもらいたいと思って書きました。

第一章では、住宅未完成被害について、前述した二つの事件を大きく取り上げて書いていきます。第二章では、工事途中で建築業者が倒産した場合に何をしなければいけないのかを、第三章では、住宅完成保証の実態を、それぞれお伝えしていきます。

そして、後半の第四章と第五章では、「本当に家が建つための住宅完成保証」について、私自身が住宅完成保証制度を立ち上げた経験なども踏まえて、考えていきます。（「はじめに」より）

<著者について>

前俊守(まえ・としもり)
1967年奈良県生まれ。サムシングホールディングス株式会社代表取締役社長。
5000社以上の工務店、設計事務所、建設会社との取引実績、さらに2万件以上の地盤保証実績を持つ。

2000年に施行された住宅品質確保促進会(品確法)、2009年に施行された住宅瑕疵担保履行法をはじめ、次々と制定される業界の新法や法改正にいち早く対応。新しい法律やルールに基づき、常にお客様視点で業界の健全化、透明化を推進。顧客本位の住宅価値創造を推進していく。

地盤調査事業において、業界にさきがけてGPSやインターネットなどITを活用した技術を確立。地盤の品質、透明性、生産性向上に貢献するシステムは他社にはない高い信頼性を持ち、個人住宅はもちろん、大手コンビニエンスストアや各種商業施設の店舗予定地の地盤調査までも依頼を受ける。さらに小型商業施設および賃貸用低層住宅などの地盤調査にも実績を持つ。

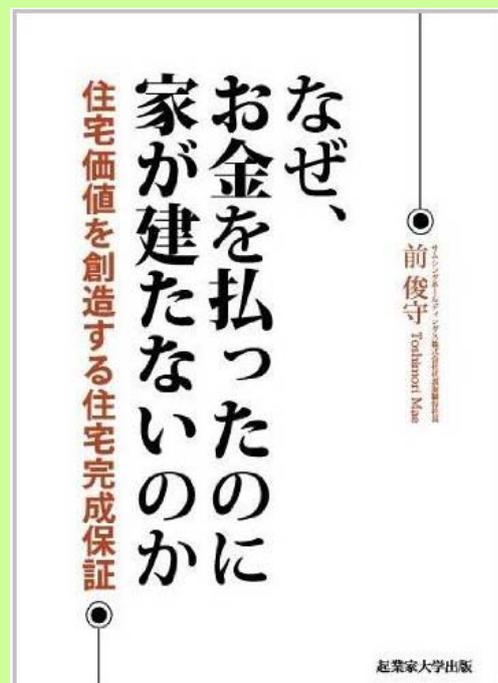
住宅完成保証分野においては、これまで蓄積してきたグループのあらゆるリソースを総動員。建物の調査、検査、保証、保険から建築物の専門家、金融の専門家までをネットワーク。画期的な仕組みを短期間で構築した実績は、業界の専門家やマスコミからも注目される。

地盤調査に関する特許技術を開発、専業で上場している唯一の企業経営者でもある。

主な著作に「安心できる家づくりは地盤から」(週刊住宅新聞社)
「あなたの家が必ず完成する新時代の完成保証」(起業家大学出版)がある。

出版社：起業家大学出版(2010/12/1)

価格：¥2,625



お問い合わせ先：
サムシングホールディングス株式会社 03-5566-5555(代表)